



Ayase River Times

みんなで 「ほっと、いっしょに、いきいきと」
 ～安心・信頼を大切に 共に考え・学び お互いの自己実現を目指します～

あいのわ福祉会

< 施設長より >

綾瀬あかしあ園では、平成23年度、ご家族と施設職員といっしょに将来に向けて利用者さんやご家族の地域生活について考えていこうと「いっしょ勉強会」と称して勉強会を実施することにしました。ご家族・施設職員双方の担当を決めて知りたいこと知らなければならないことについて考え、皆に分かりやすく伝えていくことで前向きにこれからの暮らしを考えていこうという取り組みである。大それたことを言えば、誰もがどう生きたいのかを見出していこうというのが見えない目的の一つのような気がする。

平均年齢60歳前後の保護者と平均年齢33歳（利用者平均年齢とほぼ同じ）の若い職員達とのコラボレーションである。障がいを持つ我が子を抱えながら数十年に渡り地域生活を実践してきた方々と、生活観のまだ薄い若い職員との交流だけでも職員にとっては勉強になりそうであるが、あくまでも利用者さん、ご家族の地域生活を支えるための勉強会である。

日頃話題となるご家族の心配事第1位は、ご自身の病気や親亡き後の利用者さんの暮らしである。それは最大の課題であるが施設職員でなくとも心配事第1位は分かる。第2位以下のことは個々に違いがありそうであるが、第1位が大き過ぎて取り組み方が弱い傾向にある。近頃の保護者会では、利用者さんの処遇に関しての話題を通り過ぎて、保護者ご自身の介護保険の認定やサービスの活用まで話題になっている。今でもできること、学ぶべきことはあるはずである。この勉強会では現在の利用者さんの地域生活を検証し、福祉サービスの活用や職員と同じ「生活者」である利用者さんやご家族の真のニーズについて考えていけると嬉しいと思っている。若い職員たちがどこまで専門職として、ご家族や利用者さんに寄り添うことができるのか、楽しみでもある。

先日、聖路加看護大学で行われた「30年後の医療を考える会～最後の日までの家とケアと人と暮らし～」という市民公開シンポジウムを聞きに行った。「病院の世紀から地域ケアの時代へ」という一橋大学大学院社会学研究科の猪飼周平氏の基調講演があった。20世紀は、病院での救命や治療の時代で病気や障がいを持つ人の生活は「医学」が決めてきた。救命第一の発想から、病気になれば病院の方が良いという考え方である。特に日本ではどんな病気の急性期も慢性期も障がいも同じ処遇だった。しかし、健康や生活の価値観が多様化し、病気や障がいを持って在宅療養をしながら自分らしく暮らしたいと考え、それを自分が決める時代になった

という。生活者として自分が選択するということである。その生活を実現させるための最も大きな課題は、保健（予防）と医療と福祉の連携であり、これは今まで「障がい者福祉領域で主に発達した諸概念」の社会全体への浸透ということになるという。

というわけで、時代の最先端をゆく 트렌ディな綾瀬あかしあ園の「いっしょ勉強会」は、21世紀に生きる人々の求める生活概念をバッチリと捉え、老若男女誰にとっても役に立つ勉強会ということになる…かも。
 (太田 記)



< 事務室より >

利用者さんに「新しい事務員さんをご紹介します!!」とお伝えすると、「高原さん!!辞めるんですか?!」と言われました…辞めませんよ～まだいいですか(～;)をご紹介します!!上野さんです♪ 初めまして!上野 幸恵 (ウエノ ユキエ) です。ご迷惑をかけることもあると思いますが、頑張りますのでよろしくお願いします。
 (高原・上野 記)



< 保健室より >

いよいよ花粉の飛ぶ季節がやって来ました。皆さん症状は出ていますか?今年は去年の8倍以上飛ぶと言われてはいますが、どうなのでしょう。花粉症の我身には、つらい季節です。免疫力も落ちて来るので余計に症状がひどくなると言われています。免疫力を落さないようにするためには、まず身体を冷やさないこと、冷たい飲み物はもちろん、冷たい食べ物も極力とらないこと、マスクをかけて冷たい空気を吸わないこともポイントだとか。効きそうだとされるものは何でも試してみています。ちなみにヨーグルトにも再チャレンジしています。花粉症の皆さんはどうしていますか。情報提供お待ちしております。
 (宇野 記)



< 2F にこにこグループより >

にこにこグループでは3日に綾瀬あかしあ園のみなさんの健康を願って豆まきを行いました。10日には年に1度のチャレンジクッキングでバレンタインデーが近かったこともあり、ホットチョコレート作りを行っています。40枚の板チョコを皆で一生懸命砕いて溶かした頃には部屋中が甘い匂いに包まれました。それを6リットルの沸騰した牛乳に溶かしました。なかなか溶けず、苦戦する場面もありましたが、なんとか無事に完成し、あま～いホットチョコレートは少し甘すぎたかな?という声もあったような、なかったような…。(橋本匠 記)

< 3F ゆいま〜るグループより >

今月は雪も降り、まだまだ寒さが続きそうですね。ゆいま〜るグループでは18日に音楽レクでアニメの「となりのトトロ」でアテレコをして盛り上がったり、来月行う納め会の話し合いをしています。納め会では、出前をとることに決まり、みなさん今から楽しみにしています。(千葉 記)



< 4Fグループより >

春の暖かさが待ち遠しい気持ちもありつつ、花粉症の方には徐々に辛い時期になってきました。4Fグループでは2月14日に毎年恒例の「バレンタイン企画」を行いました。義理チョコだとわかっていながらも緊張ムードが漂い、普段とは違う表情が見られました。

3月には、毎年恒例の「ホワイトデー企画」や「納め会」とグループのイベントが控えています。「納め会」の内容はまだ未定ですが、「ホワイトデー企画」はお返しが・・・♡今から楽しみに待っています。(中村 記)

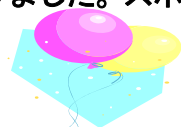


< クラブより >



☆音楽・ダンスクラブ☆

今月の音楽・ダンスクラブでは3日が節分ということで、豆まきパーティーを行っています。鬼のお面を被り、”鬼は外、福は内、パラパラパラ豆の音〜♪”という豆まきの歌をみんなで歌いながら、スポーツクラブとオトナクラブのフロアに行き、豆まきをしました。他のフロアを巻き込んでの豆まきということもあり、とても盛り上がりました。スポーツクラブとオトナクラブのみなさんご協力ありがとうございました。(尾臺 記)



☆スポーツクラブ☆

今月のスポーツクラブは新年第2弾としてみなさんに人気の高い風船バレーを「新春チーム対抗 風船バレー大会」と題して行いました。くじ引きで利用者さんも支援員も4チームに分かれリーグ戦で試合を行いました。久しぶりの風船バレーということもあって、利用者さんも支援員も夢中で風船を追い、楽しく盛り上がりが熱戦を繰り広げました。

来月も楽しさいっぱいのスポーツクラブになりそうですね。(橋本祥 記)

☆オトナクラブ☆

オトナクラブでは14日がバレンタインデーということもあるため、お菓子作りをしました。板チョコを使ったチョコムースと、抹茶チョコを使った抹茶ムースを、みなさんにどちらが良いか好きな方を選んでもらいました。チョコを割ったり生クリームを泡だてたり、みなさんおいしいムースを食べるために一生懸命作っていました。出来上がったムースにはチョコシロップや生クリームで飾り付けをし、仕上げてもらいました。いろいろなものを飾り付けすぎて、とても甘そうなムースの方もいましたが…みなさんおいしそうに召し上がっていました。

(小熊 記)

今月のボランティアさん

さて、今月のボランティアさんは何人？

1月21日～2月18日まで… 延べ 2人!!!

綾瀬あかしあ園では、日常的な活動をお手伝いいただけるボランティアさんを常時募集しております。詳細につきましては地域ボランティア担当 神野(じんの)・西川・尾臺(おだい)までお気軽にお電話でお問い合わせください。電話 03-5682-7272 (地域ボランティア担当)

3月の予定

- 1日 クラブ
- 4日 摂食指導
- 29日 訪問美容サービス「陽だまり」
- 31日 通所バス運行最終日



< 編集後記 >

先日グループの活動で大谷田公園に梅の花を見にいきました。まだ咲いている花はまばらでしたが、寒かった冬も終わりに近づき、春の訪れを予感させるものでした。

私は重度(?)の花粉症で、この時期になると眼が痒くなります。同じ症状の方も多いのではないのでしょうか?例年、桜が満開になる頃には症状が軽くなります。は〜るよ来い!は〜やく来い!の心境です。(三宅 記)